



多くの方々に愛される
協同組合を目指して
JA新津さつきが取り組む
自己改革



担い手支援室を設置(選任TAC2人体制)しています。

平成28年3月より、担い手支援室を開設。平成28年度126件の個別相談・訪問を行いました。現在は1人当たり60件の生産者を訪問しています。開設当初は、訪問活動の中で担い手の生活サイクルや経営実態を読み取り、生産者1人1人が求めるニーズは何かじっくり探りました。これらの意見、要望を受け、畑作作業の省力化として、新潟農業応援ファンド等を活用した農機の導入を推進。またWeb農業簿記システムによる青色申告・経理支援や担い手支援端末・Z-BFMによる労働力の経営改善などを提案しました。今後は大規模農家のJA離れ防止や、自己改革の実践が求められている中で、担い手に応じて最適な支援メニューを提案します。JAへの信頼と担い手との絆を深めるため、常勤役員の同行訪問などにも取り組み、活動の最前線に立ち実践していきます。



TACが常勤役員と担い手を訪問



農業融資担当と合同で生産者と打ち合せ

特産野菜(エダマメ【さつき茶豆・かおりちゃん・あまみちゃん】、サトイモ【里のいもこ】、イチゴ【越後姫】、プチヴェール【雪こだち】)の作付面積拡大

エダマメの作付面積が5.57ヘクタールから6.56ヘクタールに増加(平成28年度)

サトイモの作付面積が7.04ヘクタールから9.11ヘクタールに増加(平成28年度)

ブランド特産野菜の生産量を増やすとともに、販売先をさらに開拓して、生産者手取りの増大に努めます。

また、プチヴェール「雪こだち」、イチゴ越後姫は、栄養機能食品に認定されました。これからもJA新津さつき産特産農産物の付加価値を高めるさまざまな取り組みを実践していきます。



健康野菜プチヴェール



イチゴ(越後姫)



水稲育苗ハウス利用の施設園芸作付システムを推進

ハウス利用園芸取り組み生産者	養液栽培
68名	3名

水稲育苗期以外の時期の効率的なハウス利用のため、園芸（野菜等栽培）や養液栽培の研修等を実施しています。生産者収入の増大を目指しています。



トマト養液土耕栽培研修会を実施

花木即売施設「花夢里にいつ」のイベントの充実と提案型店舗づくり・品揃えの充実を行い、生産者の所得の増大を図る



季節ごとの各品目のフェア、感謝祭、セールを行っています。また、ディスプレイ販売に取り組むとともにマスコミを利用したイベント広告を実施し、集客を図っています。



イベントで賑わう店内

野菜直売所の会員増加を図り、生産者の所得の増加を図る

ベジランドにいつ	新鮮組	農家の店
会員：153名	会員：45名	会員：33名

定期的に各種のイベントを行い集客に努めるとともに、生産者向けの指導会を行い、店舗の品揃えの充実に努め、集客増を図っています。これからも生産者収入の増加と、消費者の地元農業への理解、ファンづくりを進めていきます。



ベジランドにいつでの餅つきイベント



サトイモづくりの研修会



お盆の切花の特価販売



水稲の土づくり資材(ケイ酸質資材)の施用拡大や各種指導会による 良品質米生産に取り組み、消費地から選ばれる産地を目指します。

JAが土づくり資材(ケイ酸質資材)の散布を請け負う取り組みを行っています。(平成28年度実績157ヘクタール)また、行政の助成措置の活用を進めています。

時期ごとに稲作指導会を各地区で行い、タイムリーな情報発信を行っています。

水稲の成長状況を把握するための手助けとして、葉色看板の設置、葉色計の活用を推進しています。



水稲指導会(大安寺にて)



葉色看板でイネの
生育状況をお知らせ

昔ながらのお米づくり教室・野菜等収穫体験を実施し、 消費者の皆さんの農業への理解を図っています。

新潟市指定文化財、満願寺はさ木並木にて行っている昔ながらのお米づくり教室(5月田植え、9月稲刈りはさかけ体験)、苺「越後姫」もぎ採り、サトイモ「里のいもこ」収穫体験を行っています。春の田植え体験では、兵庫県のコープこうべの職員の皆さんが産地交流として、田植えを体験しました。また、9月の稲刈り、はさかけ体験で収穫された「はさかけ米」を秋葉区内の学校給食用に贈呈しています。



稲刈りはさかけイベント



田植えイベントに参加されたコープこうべの皆さん



イチゴをもぎとる子ども



秋葉区にはさかけ米を寄贈